

# カラゴロリ

7  
2011



You never know  
until you try

## 「まずはやってみよう」

今号が創刊号となるニュースレター。「まずはやってみよう！」が、今年の赤城のキーワードです。

表紙の絵は、ベニシジミとハルジオン。ところで、ハルジオンとヒメジオンの違いを知っていますか？茎のなかがストロー状になっているのがハルジオン、詰まっているのがヒメジオンです。覚え方は北国の春。「北国の春は何もない春です」から、茎のなかが何もないのがハル(春)ジオンと覚えます。

皆さま

はじめまして。

赤城青少年交流の家の所長の桜井と申します。

4月1日より、所長になりました。

以前は、NPO 法人国際自然大学校の副理事長をしていました。

そうです。公募による民間人採用で、所長になりました。

ですから、やっと、どこに何があるかわかってきた程度です。

しかし、大切なのは、

『ここ赤城青少年交流の家が、どこにあって、どんなことをしているか。皆さんに知ってもらうこと。』

『そして、皆さんが、私たちに、どんなことをしてほしいと思っ  
ているかを知ること。』

だと思っています。その上で、もっとよいことをすること。

皆さんがしてほしいことにちゃんと答えることだと思うのです。

この通信を定期的に皆さんにお届けしますので、

時間があるときにごらん頂き、気軽に、ご意見やご要望を  
頂戴できればと思っています。

どうぞよろしく願います。

そして、皆さんと、楽しく思い出に残る体験をご一緒できる  
のを楽しみにしています。

風  
のおと

所長 桜井義維英

# ボランティアスタートアップセミナー inあかぎ



◆5月21～22日実施  
◆参加者:40名の学生・社会人のみなさん

今年度は、あかぎボランティア活性化を目指して、人材養成に力を入れています。5月21～22日には「ボランティアスタートアップセミナー」として40名の方々に参加いただき、活動にあたっての基礎的な知識を学びました。



↑「キャンプのいろは」では、鍋割登山の下見をしました。

また、6月11～12日には、キャンプの技能を身につける「ボランティアのつどい～キャンプのいろは～」を開催しました。今後は、彼らが中心となった小学生向けのキャンプを7月～10月まで毎月実施します。ご参加お待ちしております。(文:山崎)

## ～スタートアップセミナー 主な内容～

### 1日目

- ◆実習「まずはお友達から」AAP(あかぎプロジェクトアドベンチャー)の体験
- ◆実習「ボランティアに必要なこと…命を守る」救急救命法講習
- ◆実習「これがボランティアだっ」キャンプファイヤー
- ◆ワークショップ「青少年教育施設とボランティア」

### 2日目

- ◆講義「青少年教育の理解とボランティア活動の意義」
- 講師:茨城大学生涯学習教育研究センター准教授 長谷川幸介氏
- ◆講義「こが赤城のボランティア」



↑まずは仲間づくりから。あかぎアドベンチャープログラムを体験中。

## 参加者・スタッフ募集中!

### 7/17～18【ホップ!ステップ!キャンプ!】

～自然に親しもう!テントに泊まろう!キャンプ友だちを作ろう!～

おもな活動: ■仲間づくりゲーム ■登山 ■テントをたてよう  
■焚き火でカレーづくり ■キャンプファイヤーなど…

- 日時:7/17(日)～18(祝月)1泊2日 9:00 集合、13:00 解散
- 会場:国立赤城青少年交流の家 山のキャンプ場(交流の家敷地内)
- 参加費:2,110円(食費、宿泊費、保険代等)
- 対象:小学校5～6年生20名(先着順)



### スタッフとして関わりたい!という方も大歓迎!

- ◆ボランティアスタッフの主な役割
  - ・子どもたちのグループについて活動や生活面をサポート
  - ・食事・備品などキャンプを支える本部スタッフ
- ◆対象:ボランティアやキャンプに興味のある高校生以上
- ◆費用:実費負担
- ※スタッフとして関わっていただく場合は、別日程での打ち合わせにご参加いただきます。

キャンプへの参加、スタッフとしての参加、  
いずれも、お問合せ・お申込みは、  
お電話でこちらまで☎

➔ **027  
(289)7224**

## 💡よていひょう💡

赤城交流の家ではその他、以下の事業を行います。

- 🌀6/24～27【ミクロネシア諸島自然体験交流事業】  
日本と太平洋諸島の子どものための交流事業。
- 🌀8/3～5【教員免許状更新講習】
- 🌀8/17～23【あかぎフォレストステイ体験隊】  
「木」をキーワードに、自然を感じ考えるエコキャンプ。
- 🌀9/10【ホップ!ステップ!キャンプ!】デイキャンプ
- 🌀9/17～19【あかぎナチュラルドリーム】  
学校における環境教育の理論や支援方法を学びます
- 🌀10月【ホップ!ステップ!キャンプ!】1泊2日のキャンプ
- 🌀11/3～6【自然体験活動指導者養成研修】
- 🌀11/12～13【青少年体験活動フォーラム】
- 🌀12/9～11【青少年自立支援者のための研究交流フォーラム】事例紹介、協議、支援者スキルアップ研修。
- 🌀未定【あかぎ多文化共生推進プロジェクト】
- 🌀通年【あかぎ森林再生活動体験プログラム】

# おススメプログラム【あかぎアドベンチャープログラム/AAP】

## チームワークを体験から学ぼう



「あかぎアドベンチャープログラム」(通称:AAP/アップ)は、いろいろな大道具や小道具を使い、あそび感覚で与えられた課題をクリアしていくものです。

その中で大切なことは、全員が思いをひとつにしなければクリアできないことです。そのために、みんなですれればいいのか、どう動けばいいかを話し合い、アイデアを出し合ったりして行っています。やっていくうちに、自然に協力・協調性が身に付いていきます。それに、全員が協力して課題をクリアしたときの達成感は格別なものです。

是非、みなさん、AAPを体験してみてください。お待ちしております。(1グループは、15名以内が効果的です。)指導者向けの体験会も開催しています。お問合せください。(文:廣澤)

## ～ご利用にあたってのよくある質問～

今回は、お問合わせの多い『つどい』についてお答えします。交流の家ならではの行事になります。ぜひ参考にしてください。

### Q1 『つどい』は参加しないといけませんか？

→他団体の様子を知り、互いに尊重し合い活動を進められるように、1日の活動の展望やふりかえるために実施しています。ファミリーで利用する場合もご参加いただいています。(理由がある場合を除く)

### Q2 『つどい』ではどんなことをするのでしょうか？

国旗・所旗の掲揚・降納(全体の中から各2名)/ラジオ体操(朝のつどいのみ。各団体から見本者を数名)/団体代表者あいさつ(各団体1名)/職員からの連絡

※荒天時は体育館での実施です。※冬期(11～3月中旬)はタベのつどいは体育館で行います。※司会、旗の掲揚、降納の担当は、代表者会議で決めています。

～赤城交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアスタッフの方々をご紹介します！～

## この人に会いたい

お話をうかがった方:

もりながけいいち

森永桂一さん(登山プログラム講師)



森永さんは、赤城交流の家の登山プログラムの講師を務めておられます。今回は、森永さんと山とのつながりを伺いました。

昭和13年8月8日のお生まれで、今年で73歳になられます(どう見てもその年には見えません。)山との出会いは、20代半ば。友人に山岳会入りを誘われたのがきっかけでした。

30代の頃は、裏妙義や谷川岳の険しい岩壁ばかり登っていたそうです。山岳会仲間での初登攀を競い合っていました。多い年は、年間50日も谷川岳に入るほどだったとか。命の危険と隣り合わせだったので、ご家族へはいつも事後報告だったそうです。あとでわかった話で、森永さんが出かけた後、「なんで行かせたんだ!」とご両親が大ゲンカになったこともあったそうです。

今も、群馬県内外の山をたくさん登られています。昔のぼった山に行くと「昔の恋人に行きあったような気持ちになる」そうです。若いころは、血気盛んなクライマーだったとは想像できないほど、温厚な方です。一緒に山をあるきながら、昔の山の様子や出来事をたくさん聞いてみて下さい。山歩きが楽しくなりますよ。(文:柴崎)

## ～アンケートから～

### ★オリエンテーリングの地図が小学生には難しい。改善を。

⇒オリエンテーリング協会の地図とは別に、小学生用にアレンジしたものをご用意しています。

実施の際はオリエンテーリング地図を購入いただくのが条件ですが、事務室までお問い合わせください。

### ★ドライヤーの風力が弱い。

⇒利用ガイド(入浴の利用について)にも掲載されていますが、省エネ・節電のため微風となっております。

タオル等よく拭き取ってもらうなど、ご理解ご協力のほどお願いします。

### ★アクティビティホール、たまに湿気を感じる。

⇒懸念していたトイレの改修工事は無事完了しました。

湿気については建物の構造上の課題が多く、こまめに窓を開け、空気を流すようにしています。



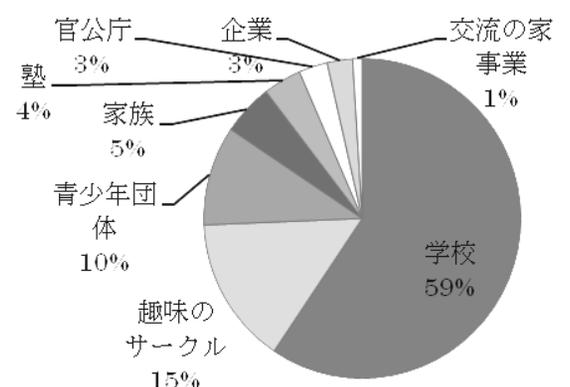
## 🌀りようのようす🌀

■4月の利用者数…6,320人、108団体

■5月の利用者数…15,285人、200団体

※4月は4/15からの集計です。

### ■利用団体の割合



# 山麓もよう

赤城交流の家周辺の施設・団体をご紹介します。

## 【とんとん広場】 TEL:027-283-2983 / 群馬県前橋市三夜沢町 534

赤城山麓は養豚が盛んな地域です。交流の家から車で 20 分ほどの場所に、農場レストラン「とんとん広場」があります。林牧場産の「福豚」が食べられるレストランがあるほか、ハム工房や食農体験教室、ミニ豚広場など、ほっとする温かい空間です。



とくに、「手作りウィンナー教室」は、おススメプログラムです。肉とスパイスをこね合わせ、羊の腸への肉詰めなど、「本物のウィンナー」を自分の手で作ることができます。もちろん味は格別！！人数によっては、赤城交流の家での出張プログラムも可能です。



## リレーcolumn すたっぷの目

文:大澤 翔二郎  
事務・施設整備など裏方役  
趣味…ダイビング・ゴルフ  
こう見えても愛妻家(〃)v



毎月のように職員研修を行っています。ロープワーク、救急救命、環境教育など、その内容は多岐に渡ります。毎年 10 万人を超える方々が本所を利用してくださっているのも、それらスキルアップの努力が実を結んでいるからでしょうか。

ところで、子どもの数は年々減り続けています。日本全国の 15 歳未満人口は 1980 年には約 2,700 万人でしたが 2010 年では約 1,700 万人です。これは毎年約 1.5% ずつ減っている計算になり、この 30 年間で 3 割以上減っていることとなります。数字にすると結構びっくりしませんか？

にもかかわらず毎年変わらず多くの方に利用していただいていることを考えると、とてもありがたく、また、頑張ろうという気持ちになります。今後とも赤城青少年交流の家をよろしく願います。

## 今月の つぶやき

- 着任して2ヶ月がたちました。やっとな群馬のこと、赤城のことごわかってきました。これから、皆さんの所に伺います。(桜井)
- 周辺の木々が新緑から深い緑に変わり、サツキやヤマボウシが彩りを添えています。梅雨の霧雨に霞む森に子供たちの歓声ははずみ、フツと笑顔がこぼれます。(島崎)
- 今日も頑張れよ、姿は見えませんが毎朝ウグイスに応援してもらっています。(新井)
- 自然の中で、四季折々の風を五感で味わってみてはいかが？(佐藤)
- 草木の成長が早い季節になりました。空気のおいしい季節ですので、皆さん気軽に訪れて下さい。(田村)
- 薪割りをしていたら、へびに出会いました。キジも出てきました。ウグイスも鳴いています。赤城はいいところです。(神山)
- 管理係長やってる秋山です。2年目ですけど、赤城はまだまだ知らないことだらけです。毎日が体験学習です…。(秋山)
- アクティビティホールには、電子ピアノが設置されています。なかなか高性能なものらしいので皆さん是非使ってみてください。(加藤)
- この施設は本当に虫が多いです。1日 50 匹くらい見かけます。以前は苦手でしたが、あまりに沢山いるので慣れてしまいました。(大澤)
- 繁忙期を迎え、万歩計の数も知らないうちに増えていきます。やった！(小野里)
- 赤城は、本当に自然が豊かで、今はつつじが見頃です。ぜひぜひ交流の家に足を運んで、癒されてください。(星野)
- 初めまして、事業推進係の金井です。表紙絵を担当しています。今回はパソコンで描いてみました。素人ですので温かく見守ってください。(金井)
- 皆さんこんにちは。今年も(!?)‘赤城の夏’は暑いです!! そして…今まで以上に熱中症対策も必要です。準備してきてくださいね。(鈴木)
- 最近、“生きる”という事で、深く考えさせられる出来事がありました。今を大切に、今出来る事を精一杯。(武笠)
- 暑さも厳しくなりつつありますが、毎日体力の維持と言いつつ、つい食べ過ぎてしまう毎日…節電・節水・体力作りに頑張る、この夏を乗り越えたいと思います。(阿佐美)
- 6 月は環境月間ですね！木々の緑も増し、鳥や昆虫の姿もたくさん見られるようになったこの季節、自然の風を感じたり、様々な音に耳を傾けてみるのもいいかもしれませんね。梅雨のうとうとしさも楽しくなりそう！(石川)
- ちょうど「野いちご」や「やまぐわ」の実が食べ頃です。また、「山ぼうし」が真っ白い素敵なお花を咲かせています。ウグイスやホトギスもうるさいほど鳴いています。(坂田)
- 担当する事業「あかぎフォレストステイ体験隊」の参加者募集がスタートしました。充実した6泊7日になるよう準備がんばっていきます！(西田)
- ボランティア担当です。6 月はスタッフ養成のキャンプを実施しました。7 月は小学生向け 1 泊 2 日キャンプです。皆さんの参加をお待ちしています。(山崎)
- この時期は雨が降りますが、雨上がりはマイナスイオンを身体で浴びることができとても気持ちいいですよ。(廣澤)
- タイトルの「カラゴロリ」は、赤城のからっ風の「から」と名物の雷の「ゴロゴロ」をかけました。やっぱり機関誌づくりは好きです。(柴崎)

## 国立赤城青少年交流の家

### ● 自動車の場合

関越自動車道「赤城I.C.」から約 20 分/北関東自動車道「伊勢崎I.C.」から約 45 分

### ● 電車の場合

JR 両毛線「前橋駅」下車→路線バス(関越交通)「国立赤城青少年交流の家」行き 40 分 (4/28~11/4 のみ運行。1 日 3 往復。平日は要予約→関越交通:027-210-5566) または、タクシー(片道約 4,000 円)。

【国立赤城青少年交流の家】 <http://www.akagi.co.jp>

TEL:027-289-7224(9:00~18:00) FAX:027-289-7226 E-mail:akagi@niye.go.jp

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山 27

「所長のつぶやき」  
「トピックス」更新中

